

平成 28 年度 地域生活移行部会 検討状況報告書

平成 29 年 3 月 22 日 更新

部会構成メンバー	
<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県立精神医療センター 松尾 ・みのわの里療護園 足立 ・うらら長岡 後藤 Ⓜ障がい者支援センターあさひ 岩淵 Ⓜ長岡市障害者基幹相談支援センター 齋藤・石黒 ・田宮病院 渋谷 ・桜花園 波形 ・長岡市社会福祉協議会 桑原 Ⓜ相談支援センターふかさわ 佐藤 Ⓜ…事務局 	
会議開催経過	議題・検討内容
【第 1 回】 平成 28 年 10 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の自立支援協議会について、説明と共有 ・地域生活移行部会活動予定の検討
【第 2 回】 平成 28 年 11 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーキング実施方法の検討 ・課題の考え方について、説明と共有
【第 3 回】 ワーキング 1 回目 平成 29 年 1 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有、課題出し
【第 4 回】 ワーキング 2 回目 平成 29 年 2 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の選定、解決に向けた取り組み案の設定
【第 5 回】 平成 29 年 2 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度のまとめ、振り返り
取組方針	<p>地域移行の多岐に渡る課題の中から、地域へ送り出す側の課題について抽出を行う。各障害から一つずつ課題をあげ、来年度の検討につなげて行く。</p> <p>※地域に送り出す側→精神、知的、身体の 3 障害。入所、病院、宿泊型訓練施設。</p>
（全体会・運営会議へ特に報告が必要な内容）	<p>【第 1 回】</p> <p>今年度の活動予定を決定。今年度は課題を出すまでを目標とする。方法は 3 障害を各グループとして市内の対象事業所と病院が参加するワーキングを実施する。</p>
	<p>【第 2 回】</p> <p>ワーキング方法の決定。参集機関は全ての対象事業所と病院とする。ワーキングは 2 回（課題を出す回、課題をまとめる回）とし、最終的に各グループで課題を 1 つ選定する。</p>
	<p>【第 3 回】 ※ワーキング第 1 回</p> <p>参加機関が障害別に分かれて考え方や取り組み状況などを意見交換し、情報共有を行う。その後送り出す側の課題を考え、出し合う。</p>
	<p>【第 4 回】 ※ワーキング第 2 回</p> <p>各機関から出た課題をいくつかのカテゴリーに分け、なぜそれが生じているかを分析。取り組みやすさ、効果的、緊急的などの観点から、3 障害それぞれ解決に向けて取り組みたい課題を 1 つ決定する。</p>

	<p>【第5回】</p> <p>それぞれ結果報告し、3つの課題を共有する。来年度の部会の方向性について検討。ワーキングを進めながら、進捗状況把握の為に年3回程度部会を開催する予定。</p>
<p>今後の検討の方向性</p>	<p>今年度の部会で取りまとめた障害別ごとの『送り出す側(施設・病院側)の課題』について運営会議へ報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知的障害グループで課題選定とした「家族・保護者の不安」に対する取り組みについては、ワーキングで普及啓発のためのパンフレット作成を行うこととなった。 ○身体障害グループで課題選定とした「支援者が(地域移行等を)知らない課題」については、課題の解決に向けた具体的取り組みについて来年度部会で改めて検討。 ○精神障害グループで課題選定とした「身元引受人に対する課題」については、課題の解決に向けた具体的取り組みについて来年度部会で改めて検討。 <p>上記の具体的取り組み方法の検討及び課題解決に向けた取り組みを、来年度の部会、ワーキングで継続して実施することとしている。</p>
<p>運営会議への 伝達事項等</p>	